

町立津南病院地域研修 感想文

十日町病院 中村匠

私は2025年7月と12月に地域研修を行わせていただきました。津南病院と十日町病院は隣同士の病院ではあるものの、地域研修でお世話になるまではほとんど病院の情報を知りませんでした。

津南病院での研修がスタートしてまず最初に紙カルテとの戦いが始まりました。初めての紙カルテだったので情報の拾い方や書き方を覚えるのが少し大変でした。オーダーの出し方も電子上のものと紙面上のものがあって難しかったです。しかしながら指導医の先生方や外来病棟のスタッフの方々が親切に教えてくださりだんだんと使えるようになりました。津南病院は全病床が包括ケア病棟ということもあり、入院する患者層が十日町病院ともまた少し違うことを感じました。80, 90台の患者さんがより多く比較的治療そのものよりも本人やご家族の意思を尊重し医療側はそれをサポートしよりよい人生を目指すといったコミュニケーションが重要な場所であると感じました。一方で現状の需要の増加している高齢者の医療を費用、人的資源ともに減少傾向の現役世代が負担することへの持続可能性についても考えさせられました。どこまで積極的に治療を行うのか、そして治療をしない選択をどのように提示するかはとても判断が難しいと感じました。教科書通りに治療する方が治療をしない選択をとるよりも精神的な負担は軽いように思いましたが、家族や本人の意思などを踏まえ異なる選択肢を提示、説明できるようになることも医師の仕事として重要であるだろうと学ぶ機会になりました。

学びの感想からは離れますが、想定した以上に津南病院での二か月間で非常に多くのスタッフとかかわることが出来ました。指導医の先生方には歓迎会など開いていただいたほか、外来で野菜やお菓子をもらったり病棟の飲み会に参加したりととても楽しい二カ月を過ごすことが出来ました。今後とも津南病院の方とかかわれる機会がありました積極的にまた参加したいと思います。

最後になりますが二か月間お世話になりました。